



坂の商店街。そう言われたらみなさんはどう感じるのでしょうか。みなさんにとって空堀に坂があることは当たり前前のことでしょうか。

人がいる坂

それでも空堀の坂は特別な気がしません。私を知る坂にはないものがあるように感じます。たぶん、空堀の坂は「そこには人がいる」ということを感じさせるからだだと思います。

人がいる坂。私の住む町は住宅街なので、時間帯によってはそこらにある坂が人で溢れます。でも、どれだけ人がいても、ただ通り過ぎて行くだけではそこに人がいるという印象はもてないものです。新しい町ではご近所づきあいが最初からなかったか、それとも潰えたか。人と人とのつながりは濃くありません。坂はただの通り道でしかない、そんな具合です。

でも、空堀では往來の人やお店の人が声を掛け合ったり、話し込んでいるのをよく見かけま

からほり新聞

第31号
(2014.9.22)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆ 路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆ 美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
- ◆ 商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

す。顔なじみだったり、常連さんだったり、仲が良かったり悪かったり。たぶんそういう人たちなんだろうなあ、と想像しながら私も往來の一員になります。そんな風に人と人とのつながりを想像させてくれるくらい、空堀にはちゃんと人がいる感じがします。人がいるからこそ生き生きとした雰囲気、人がいるからこそそのややこしさ。そういうものがちゃんとある。

空堀では坂がそういった人と人とのつながりを強めている、そう思います。坂を上る人は普段よりゆっくり進んでいる。下る人も、前から人が来るのでスピードを出して突っ切っていくことはできないから、様子を見て下っていく。坂が生み出すこんな環境は、行き交う人がお互いの顔を見るきっかけをつくりだします。

もちろんそれだけならどの坂でも同じはずですが、実際には

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

■高齢者外出介助の会

からほりさろんにぜひお越しください。月～金10時～17時まで空いています。

◆第34回みんなで集う秋のコンサート

▶ピアノ、バイオリン、チェロによるコンサートを開催します。▶10月11日(土)▶13:30～15:00▶大阪市立中央会館1階ホール▶入場無料▶定員250人▶問い合わせ：06-6764-4002

◆懐かしいLPレコードを1枚100円で販売

まだプレイヤーをお持ちの方、記念に置いておきたい方、一度見に来てください。松田聖子、松任谷由美、ビートルズ、映画音楽、ジャズなど。

■桃園会館

- ◆ふれあい食事会▶11月4日(火)▶11:00～13:00▶500円▶70歳以上▶問い合わせ：06-6762-5599
- ◆日本舞踊(桃園会)▶講師：島村ユリ子(若柳吉寿女)▶桃園会館▶毎月第1、第3木曜日▶14:00～16:00▶200円(毎月)▶誰でも踊れる簡単な日舞です。楽しく体を動かし健康な体作りと仲間作りをしま

会のお知らせ

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

- せんか▶問い合わせ：06-6761-6705(島村まで)
- 島之内図書館
 - ▶ゆっくり子育てふれあい絵本展▶10月2日(木)▶11:00～13:00▶中央区子ども・子育てプラザ2F軽運動室▶申込み不要▶問い合わせ：06-6211-3645
- PHOTOGROUP '82写真展
 - ▶9月29日～10月4日▶9:30～19:30(初日は12時～)▶葉葉年金会館2Fギャラリー▶問い合わせ：STUDIO BUG 06-6763-5684
- おひさまの会(多胎ママサークル)
 - ▶10月3日▶たなかキッズクラブ▶パネルシアター・歌、手遊びなど。▶10:00～12:00キッズクラブ、12:30～14:30空堀桃谷公園▶協力ボランティアさん募集中。▶連絡先：080-5654-1126

お買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月～金(10:30～15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・感想投稿イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。

見学・体験(1回)大歓迎!!

詳しくは外出介助の会でお問い合わせください。

指導：北口 桂

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えします



講師：門脇 裕子

◆稽古日：相談 ◆月謝：5,000円

◆お問い合わせ：06-6761-6189

からほり界隈お散歩MAP

からほり地域の
情報をお知らせください!

長堀通



其の28

～からほりで見つけたあまあいもの～

からほり商店街を歩くとたくさんの和菓子屋さんがあるのに気が付きます。軒先に並んだお饅頭やお団子やお餅をお土産にしようとお心弾みます。でも、洋菓子屋さんはどこにあるの？
ついでに少くないのです。
今回はからほりを歩いて見つけたあまあいもの特集です。フルーツを使ったスイーツ専門店のお店や、茶道菓子専門店のお店もありました。谷町筋沿いにある一吉さんは最中の専門店、空堀地域から外れていますが、おしやれなお店なので紹介しました。

★ 山口果物



果物を使ったスイーツのお店。
果物いっぱいのフレンチトーストが人気!
電話:06-6191-6450 時間:10:00~20:00
定休日:不定休

★ 2 まるいち本舗



おすすめは天下人(てんかびと)という名前の三笠。おじいさんの時代から作っています。
電話:06-6761-3741
時間:8:30~18:00
定休日:日・祝

★ 3 末廣屋一祐



四季折々のお茶会のお菓子を扱っています。店内は干菓子の抜型が並んでいます。
電話:06-6761-5096
時間:9:00~18:00
定休日:日・祝

★ 4 ピストロカフェ オムレット



全て店内で手作り。おすすめは、リンゴのタルトです。
電話:06-6761-0672
時間:11:30~18:00
(18:00以降予約制)
定休日:火曜日・第3木曜日

★ 5 梅乃餅



現在5代目のお店。栗の和菓子と季節のフルーツ大福がおすすめ。
電話:06-6761-2549
時間:平日9:00~18:30
定休日:日・祝

★ 6 松竹堂



大正7年創業。すべて手作り。おすすめは、上用饅頭といちご大福です。
電話:06-6762-1945
時間:10:00~17:00
定休日:日・祝

★ 7 一吉



国産豆使用の手作り餡の最中を作っています。有機味噌餡がおすすめ。
電話:06-6762-2553
時間:11:00~18:30
(金~18:00 日・祝~17:00)
定休日:月(日・祝不定休)

紙製の薬莢を作り続けた女学校時代

〔梶田尚子さん 昭和五年生まれ〕

その昔、両親は農人橋橋詰町に住んでおりました。その後大東市野崎に移り私はそこで生まれました。小学校六年生の十二月八日にNHKのラジオを聞いて開戦を知りました。小学生でしたけれど内容はわかりました。昭和十九年、府立寝屋川高等女学校（五年制）の三年生の二学期から、枚方にある砲兵工廠に学徒動員されることになりました。三年生までの制服はプ



左側が梶田さん 当時十五歳

リーススカートでしたが、その後、裾からスカートに炎がつくというので、もんぺになりました。上衣も作業服で国防色。防空頭巾と水筒をたすき掛けにして通っていました。砲兵工廠では高射砲の弾に入れる信管や薬莢を作る作業をしていました。薬莢というのは、弾が発射されたら不要になる部分で、本来は金属で作るのですが、当時は紙を棒状に捲いて二

スにつけて乾かしていました。結構固いものにはなりますが、「こんなもので戦争に勝つのかな？」と思っていました。さらに、せっかくなので戦場に持って行かず枚方小学校の講堂に積み上げて疎開させていました。工廠は爆撃されるからという理由です。アメリカの飛行機からビラが巻かれて砲兵工廠の爆撃予告があったみたいですけど、それは学校側が見せてくれませんでした。一度だけ機銃掃射を受けたことがあり、防空壕に入りましたが、アメリカの飛行機が超低空で飛んできて、米兵の顔が見えたのを覚えています。

とんきんの団子汁でした。砲兵工廠では味付けご飯が出ましたので、家からドカベンの弁当箱を持っていくのが楽しみでした。これもやがて黒いコッペパンに代わっていききました。終戦のその日は栄養失調で休んでいました。正午のラジオ放送を聞いていたとき突然の父の嗚咽と「日本は負けた」という声で敗戦を知りました。その日なぜか、砲兵工廠ではぜんざいが出たそうです。「苦勞さん」という意味だったのでしようか？ 学業を放棄してきてくれたらありますがとうとう意味だったのでしようかもしれません。

卒業証書は粗末なA5くらいの小さな紙でした。それでも校長先生は「うちの学校は卒業証書が出せた」と自慢しておられました。他の学校はそんなものさえもなかったということでしょうね。因みに動物の中では同胞で殺しあうのは人間と鼠だけだそうです。武器製造に励んでいた当時の思い出には複雑なものがあります。（聞き手：河野いづみ）



ケラ子の介助日記

幸せって

高齢者外出介助の会

事務局長 永井佳子

最近、自分は、幸せやと思うのです。

いわく、心が悲鳴を上げるような悩みがない。後ろ髪惹かれるようなこともない。いつでも行きたくなったら、行きたいところに出かけられる。朝起きてゆっくりにお湯を沸かしコーヒーを入れる。これも幸せなとき。

さろんに来るとき駅の階段の上り下りも苦にならない。手足が自由に動くのも幸せ！

出かけるのに何を着て行こうと思う程度の衣類もある。適当なお金もある。日々の暮らしを見直す。これも幸せ、あれも幸せ、と思うのです。

歳を取りたくないさろんに来られる皆さんから聞くのですが、歳を取るのには不幸せでしょうか？

とが増えるのは事実です。また容姿も衰え、見るからに、お婆さん、お爺さんです。でも心までは嫉はよりません。若いときにそれがわからなくて、初めてボランティアで老人ホームに行った時、どんな話をしたらいいのか不安でした。

私は、ボランティアを続けられて幸せでした。夢がある限り、年齢を超えて若い方々と話ができるのも楽しいことです。夢も希望も願いも若い皆さんと変わります。

その上、願っていることが実現したらこれ以上の幸せはないでしょう。空堀地域にお住いの高齢の皆さんが最後まで自宅で、空堀地域で住めるような支援の場ができれば最高の幸せ！



車椅子から眺めれば

街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

最近集中豪雨の水害被害が急になくなっていきます。台風でもないのに水に浸かるなんて、あまり予想していませんでした。それに何故か、真夜中から夜明けにかけて大雨が降る事が多く、避難にも問題がありそうです。

洪水被害のあった福知山市の隣町で、高齢の姉が一人暮らししていて、その辺りも洪水警報が出されており、心配だったので電話してみました。「深夜に避難勧告が出て避難した方が良いとは思ったけど、真っ暗で豪雨の中、足許がおぼつかない年寄り避難所まで行く自信が無かった。家に居る方が安心出来そうなので、避難しなかった」と姉は言いました。

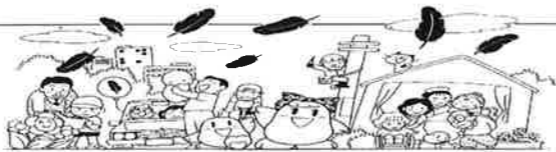
それで正解だと思いましたが。以前に避難の途中で流されたことがあり、ムリして悪天候の中を移動するより、家の中の一番安全と思われる所に、じっとしている方が良い場合もあると、言われるようになりました。

第3回 空堀むすび食堂

空堀に住んでまもない20~30歳前後のメンバー募集!

空堀でのイベントの運営などに関わってみたいという方はお気軽にお立ち寄りください。

日時：10月4日(土) 18:00~21:30
会場：胡桃 (中央区上本町西3-3-26)
詳細：http://daichinaikai.jimdo.com/



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日~12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp



仏壇やお墓に備えるお線香やお香を取り扱う昇薫堂。空堀商店街の坂の手前に建つ「からほり推奨建物」がそのお店です。厳選した質の高いお香を扱う昇薫堂は明治三年、一八七〇年に

創業し現在、四代目の店主を務めるのが清田博之さんです。清田さんは小さい頃からお香とともに生き、心を込めて家業を営んでいきます。お線香と聞くとおばあちゃん

ちの香りに思われがちです。しかし、お線香は仏具の一つとして扱われ、先祖を供養するだけでなく、亡き人を想う心を労わり、慰めるという役割も

あります。「気持ちだけのように見えませんが、ちゃんとご先祖様を供養することで、何か言葉にできない大きな力が働く」と僕は信じているんです」と清田さん。八月十五日のお盆間近の取材だったため、店には普段より多くのお客さんが訪れていました。訪れた方に予算に合わせたお香を選ぶだけでなく、お客様の話を聞く清田さん。空堀散策ついでに、久しぶりに会う家族のこと、お寺さんとのやり取りなど、そのお話の内容は様々です。清田さんはそういった方のお話相手になり、店を出るときに晴れやかな表情になってもらえると心底、うれしくなるそうです。「モノがあふれる現在では、商品とともに心を売ることが大切。お香を通して、いろんな人と触れ合い、世界が広がるのが楽しくて『飽きない』。『商売』の喜びです」と清田さん。今はマンションで暮らす人も多くなったため、立派な仏壇を構える家庭は少なくなりました。「家に仏壇が無い」という人も



快傑！からほり人

快傑ファイル其の二十六

お香を通じた人との交流が喜び

昇薫堂 清田博之さん

純日本産のお香とおもてなしの心を売りたい。日々、心を込めて家業に務める昇薫堂の店主清田博之さんにお話を伺いました

少なくないでしょう。仏壇は決して大きくなくてもいいだけでなく、仏壇でなければならぬというわけでもありません。核家族で仏壇が実家にある人はご先祖様が眠る方向や写真に向かってお線香を炊いて一礼する。それだけでも、ご先祖様を想う気持ちが生活の小さなところに変化をもたらします。ぜひ昇薫堂で清田さんとともに自分にとってのお香を見つけてみてはいかがでしょうか。

(岡田 由佳子)

女子大生の「からほりでみつけた！」



大きな植木鉢と路地の猫たち



一か月前から、からほりさんへお手伝いしに来ている大学生です。これまで永井さんに案内され、空堀の色々な場所を見ました。

お手伝いに来て、三日目。この日はじめて空堀周辺を散策しました。HOPPEゾーンで改修された石畳を奥に進み、井戸の横にあったものを見てびっくり。大きな鉢植えです。身長160cmの私と並ぶと大きさがよくわかります。これだけの大きな



大きな植木鉢

ので、数人がかりで設置したそうです。葉の大きい植物を植えると、雨宿りできそうだなあ、なんて思いました。小さいお子さんだと、結構迫力があって面白いのではないのでしょうか。商店街にはたくさんのお店が立ち並んで、活気に溢れていて良いなあと思います。そんな商店街も魅力的ですが、少し脇道に逸れると、小さな道路や坂道、路地裏が多く、そういう場所はいくつも見たり散策したくなりま



石垣の上に長屋が立つ

す。堀や塀の上に建っている家が多いことには驚きました。年期が入っているようにも見えますし、大丈夫なのかな？と余計な心配もしてしまいましたが、堀の部分はやはり丈夫に作られているので、長年支えているだけあるなあと感じます。他にも、こんなところにお店があるんだ！と見つけることも楽しいです。

動物好きの私にとって猫や犬を見つめるのも楽しみの一つです。しかし動物の毛アレルギーとい



(佐々木 聖)

う悲しい体質なので、眺めているだけになります。他にも鶏の人形がたくさん吊るされている唐揚げ屋さんや、日替わりで珍しい野菜を売る八百屋さんなど、面白いお店がたくさんあります。一度、たなかキッズクラブさんにお邪魔させていただきました。赤ちゃんと接し方がわかりませんでした。ある男の子の赤ちゃんが私の方に寄ってきてくれ、それをきっかけにその子のお母さんと少しお話しできました。からほりさんもお話していただきました。こんな風に色んな幅広い世代と話すことのできる場は大切だなと改めて思いました。

空堀のような魅力的で活気に溢れた街は、この先もずっと残って欲しいと思います。